

## 第 2 期 岩内町 総合戦略の総括



## 第2期 岩内町総合戦略の総括

### 第2期 岩内町総合戦略の検証

2015年3月に「岩内町総合戦略」を、また2020年3月には「第2期岩内町総合戦略」を策定し、めざす姿として、「健やかな町づくり～新たに創造し躍動感にあふれ活気ある町」を掲げ、4つの基本目標と地域を支える重要プロジェクトの下、これまで各事業を展開してきました。第2期総合戦略における最重要業績評価指標（KGI）と重要業績指標（KPI）の目標数値の達成状況は次のとおりです。

#### 最重要業績評価指標（KGI）

項目	H30（基準数値）	R5（実績）	R6（目標数値）
社会移動（転入者数－転出者数）	▲149人	▲30人	▲114人
出生数	68人	38人	55人

社会移動は、2040年までの流入の均衡を目指しており、令和6年度の目標数値▲114人に対して、令和5年度実績数値では▲30人であり、単年で見ると目標数値を達成していますが、令和2年度から令和4年度にかけては減少傾向であったことから、引き続き、流入の均衡を目指して取り組む必要があります。

また、出生数は令和6年度の目標数値55人に対して、令和5年度実績数値では38人であり、減少傾向が強まっています。

#### 重要業績指標（KPI）

【基本目標1】 稼ぐ力を伸ばし、安心して働けるようにする

指標	H30（基準数値）	R5（実績）	R6（目標数値）
一人あたりの課税対象所得	2,709千円	2,980千円	2,874千円
女性（25歳～34歳）の紹介就職者数	40人	53人	50人

主な事業では、ナマコ種苗生産技術の確立を目指したナマコ資源生産基盤強化事業や、ストーリー性を有するホップやホワイトアスパラガスや酒米の栽培に対する補助を行った歴史的な地域素材活用研究事業、IWANAI RESORTを運営するYukikamui(株)に対しての支援を行ったIWANAI RESORT支援事業、若者と女性の雇用促進に向けた就労支援などに取り組んできました。

2指標いずれも基準数値を上回っており、目標数値を概ね達成できる見込みです。

【基本目標2】 つながりを築き、新しい人の流れをつくる

指 標	H30（基準数値）	R5（実績）	R6（目標数値）
転入者数	380人	470人	415人
ふるさと納税寄附件数	3,624件	9,732件	8,000件
企業版ふるさと納税寄附件数	0件	13件	10件

主な事業では、地域おこし協力隊員配置事業や岩宇まちづくり連携協議会への参画を通じた小学生人材育成事業を実施してきたほか、関係人口の創出・拡大を目指し、ふるさと納税及び企業版ふるさと納税推進事業や、クラウドファンディング事業などに取り組んできました。

3指標いずれも基準数値を上回っており、目標数値を概ね達成できる見込みです。

【基本目標3】 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

指 標	H30（基準数値）	R5（実績）	R6（目標数値）
15歳未満人口	1,189人	915人	1,232人
婚姻件数	50組	40組	55組

主な事業では、令和5年4月にオープンしたいわない地域子育て支援センターにおいて実施している一時預かり事業や、産前・産後サポートケア事業、学校 ICT 環境整備事業や施設一体型義務教育学校導入事業、特定不妊治療費助成事業などに取り組んできました。

2指標いずれも基準数値を下回っており、目標数値の達成は厳しい状況です。

【基本目標4】 ひとが集う、安全・安心な暮らしを守る

指 標	H30（基準数値）	R5（実績）	R6（目標数値）
観光入込客数	376,600人	335,487人	500,000人
健康寿命の延伸	男性：77.5歳 女性：80.3歳	男性：76.9歳 女性：81.6歳	男性：78.4歳 女性：81.2歳

主な事業では、ノッタラインや円山地域乗合タクシーの運行を実施した地域公共交通推進事業や、地域資源を掘り起こし、付加価値を高めるため、道の駅機能強化事業や含翠園改修事業を実施しています。また、がん検診の受診率向上対策や高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施、避難所機能強化事業や防犯カメラや防犯街路灯（LED化）設置費助成事業などに取り組んできました。

女性の健康寿命の延伸を除く2指標いずれも基準数値を下回っており、目標数値に達していない指標の達成は難しい状況です。

## 人口推計と実績値の比較

2020年3月に策定した「第2期岩内町人口ビジョン」の人口目標値と、住民基本台帳の実績値との比較は次のとおりです。2024年4月1日時点の人口は10,986人で、既に2025年の人口ビジョン目標値である11,852人より866人少なく、人口減少が加速しています。特に0歳から4歳では、2020年と2024年の比較で106人減と、出生数の減少傾向は深刻な状況です。

単位：人

	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)
人口ビジョン目標値	13,042	—	—	—	—	11,852
人口実績値 (対前年)	12,178 (△295)	11,814 (△364)	11,527 (△287)	11,222 (△305)	10,986 (△236)	—
0～4歳人口実績値 (対前年)	321 (△23)	283 (△38)	253 (△30)	237 (△16)	215 (△22)	—

※実績値は、住民基本台帳の各年4月1日現在

## 第2期 岩内町総合戦略の総括

第2期総合戦略では、第1期総合戦略の総括や国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等を踏まえ、「稼ぐ力を伸ばし、安心して働けるようにする」、「つながりを築き、新しい人の流れをつくる」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「ひとが集う、安全・安心な暮らしを守る」の4つの基本目標の下、人口減少下にあっても本町の活性化に寄与する施策を積極的に展開してきたところであり、社会動態や自然動態を常に意識しながら登載施策の取組状況やKPIの達成状況などを「見える化」し、PDCAサイクルにより評価・検証・改善しながら各施策を実施してきました。

また、令和3年6月に策定された町の最上位計画である「岩内町総合振興計画」においても、基本理念である「健やかなまちづくり」に向け、本戦略は人口減少問題に特化した戦略的プロジェクトと位置づけられており、これらの取組は本町の地方創生に一定の寄与をしているものと考えられますが、第2期人口ビジョンで示した将来人口推計と比較すると、推計を上回るペースで減少が進んでいる現状にあります。

国の人口推移からも、人口減少そのものは避けられない状況にあることから、第3期総合戦略においては、適切な財政規模を見極めながら、限られた予算を有効活用するため、より明確な事業の優先順位付けを行い、効率的かつ効果的な事業実施を可能とする持続可能な財政運営への転換を進めるとともに、引き続き、登載施策の着実な実施を目指し、よりスピード感を持ちながら効果的に地方創生の推進に取り組む必要があります。